

### 藤崎建設工業(行方市)

## 藤崎 政行社長



再生可能エネルギー元年となった今年、新規事業として売電への参入を決めた。来年3月にも大規模太陽光発電施設(メガソーラー)を行方市内の遊休地に建設する。「大企業だけでなく中小企業も発電を行い、地域内で電力をつかって社会や環境への貢献をしたい」との思いからだ。

新規事業に積極的に取り組む姿勢が持ち味だ。

「建設業はメインだが、業界は仕事に波もある。ソーラー事業や賃料収入など景気に左右されない経営の柱を少しずつ増やしていく」と将来は売り上げの1割を建設土木以外で底上げ



# 自然体 顧客目線貫く

する目標を立てている。

会社は父の栄会長が1954年、住宅基礎や土木工事を主体に個人創業した。自宅でコンクリートの土管を製造する様子を見ながら幼少期を過ごし、中学生のころには跡継ぎを考えた。大学の工学系学部を出て同業他社で4年間、営業や現場監督を務めてから、家業に入った。本業の建設土木事業に加え、フランチャイズ(F.C.)加盟店として事業の拡大にも積極的に取り組んだ。

2004年に「ユーマー マンション」の本県エリア、千葉県エリアのF.C.加盟店として展開を始めた。これまでに神栖地域を中心に16棟を建て、来春までに5棟を増やす。

実績を積み上げているが、「土地オーナーにも入居者にも喜んでもらえる仕事を。自分たちだけがもつかればよいという仕事はしない」。

新築の賃貸集合住宅が乱

#### ■企業プロフィール

- 〈所在地〉 行方市新宮
- 〈創業〉 1954年10月
- 〈設立〉 1974年7月
- 〈売上高〉 12億100万円 (2012年6月期)
- 〈従業員数〉 19人
- 〈営業所〉 神栖営業所(神栖市)、光冷暖体感ルーム(同市)

立する現状にあって、立地や市場性が原因で入居者が見込めないような物件は、依頼があっても造らないなど顧客目線に立つ。08年に3代目の社長に就いた。昨年は遠赤外線を出すセラミックによる空調装置、光冷暖システムのF.C.契約も結び、販売を始めた。このほか高齢者専用賃貸住宅「陽だまりの郷」も所有する。

「売り上げ目標は立てない」と自然体を貫く。「仕事は何でも全て取りに行くという姿勢でなく、自分たちがやるべき仕事をやっていく。接待もしないし、してもらいたくない。実績を積みめばお客さんがついてくる」と自負心をのぞかせる。

採用した新人は3〜5年かけて育てる。趣味は旅行。海外への社員旅行にはその家族も招き、社員を大切にしているという。もちろん、家族とも国内外の旅行を楽しんでいる。50歳。

(第1火曜掲載)